

北海道集落実態調査の概要

1. 集落概況調査

- 調査対象：道内の全自治体の集落（ただし市街地を除く）
- 調査項目：各集落ごとに年齢区分別人口、世帯数、基幹産業、集落機能の維持状況、消滅の可能性など

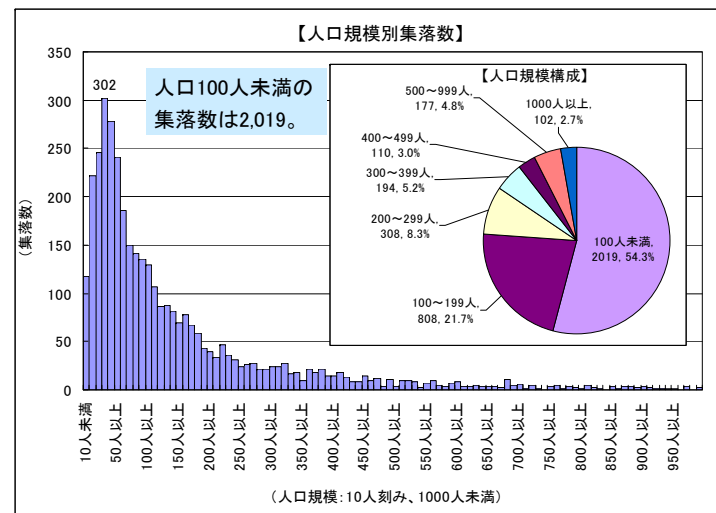
道内の全自治体（179市町村）から調査票を回収
調査対象 ～ 3,757集落

振興局	集落数
空知総合振興局	557
石狩振興局	121
後志総合振興局	337
胆振総合振興局	114
日高振興局	130
渡島総合振興局	212
檜山振興局	186
上川総合振興局	480
留萌振興局	115
宗谷総合振興局	222
オホーツク総合振興局	340
十勝総合振興局	653
釧路総合振興局	203
根室振興局	87
合計	3,757

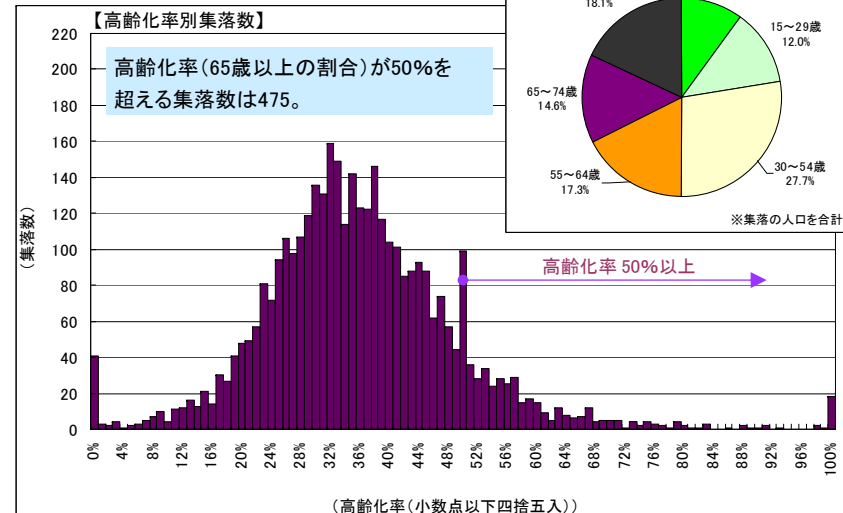
【本調査における集落の定義】

- ・一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位（農業センサスにおける農業集落とは異なるもの）
※「過疎地域等における集落の状況に関するアンケート調査」（平成22年度 総務省・国土交通省）における定義
- ・なお、本調査では、集落の範囲について、下限を「町丁字界を細分しないこと」、上限を「小学校区（学区統廃合時は旧小学校区とする）を超えないこと」に設定

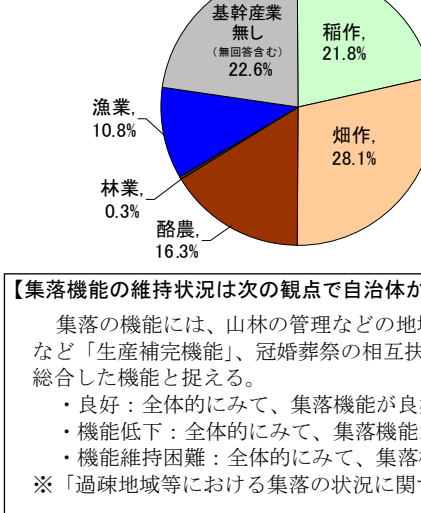
人口規模



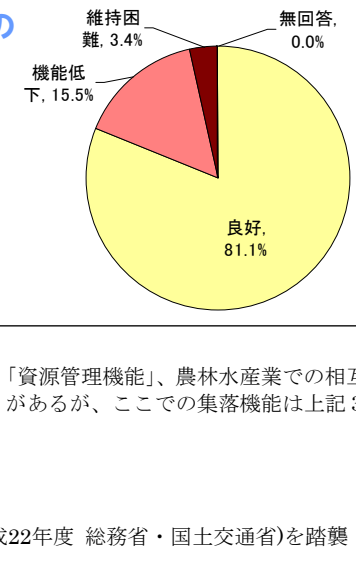
高齢化率・年齢構成



基幹産業



集落機能の維持状況



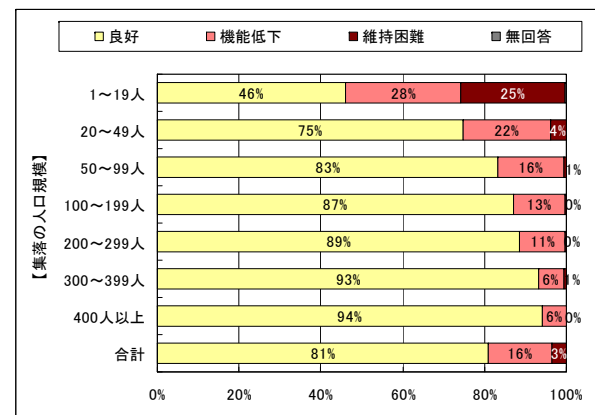
【集落機能の維持状況は次の観点で自治体が判断】

- 集落の機能には、山林の管理などの地域資源の維持保全に係わる「資源管理機能」、農林水産業での相互扶助など「生産補完機能」、冠婚葬祭の相互扶助などの「生活扶助機能」があるが、ここでの集落機能は上記3つを総合した機能と捉える。
- ・良好：全体的にみて、集落機能が良好に維持されている場合
 - ・機能低下：全体的にみて、集落機能が低下している場合
 - ・機能維持困難：全体的にみて、集落機能の維持が困難な場合
- ※「過疎地域等における集落の状況に関するアンケート調査」（平成22年度 総務省・国土交通省）を踏襲

集落概況調査から見る道内集落の現状

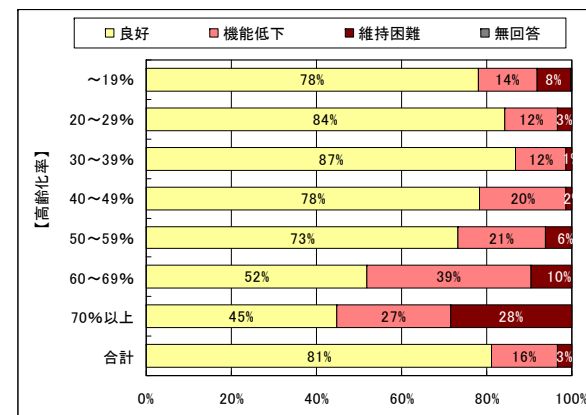
人口×集落機能

人口規模が少ない集落ほど、集落機能が低下していると判断する割合が高い。



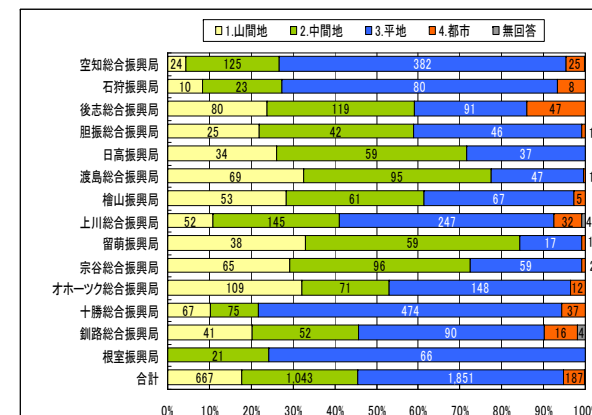
高齢化率×集落機能

高齢化率が高い集落ほど、集落機能が低下していると判断する割合が高い。



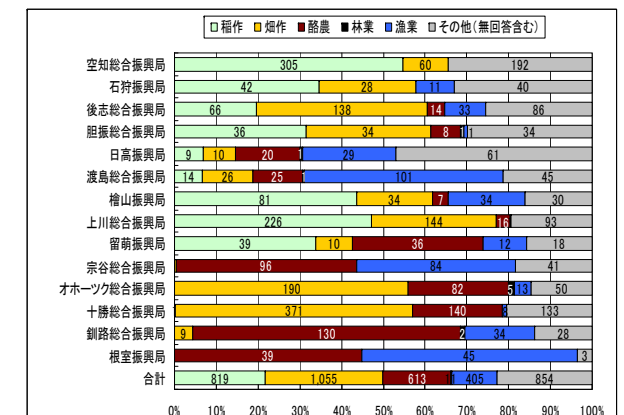
集落立地の構成（振興局別）

各振興局により、それぞれ特徴は異なるが、おおむね平地の集落が多い傾向。



集落の基幹産業構成（振興局別）

各振興局により、それぞれ特徴は異なるが、「稲作」「畑作」「酪農」「漁業」などの一次産業を基幹産業とする集落が全体の約8割を占める。



2. 集落課題把握調査

- 「集落概況調査」の結果をもとに、特に対策が必要と考えられる集落として、右の条件全てに合致する289集落（71自治体）を抽出。
- 上記自治体と協議して、このうち50自治体の担当者と99集落の代表者を対象にヒアリング調査を実施。

抽出条件

- ・地域区分：都市以外
- ・高齢化率：高齢化率50%以上、または 高齢化率40%以上かつ後期高齢化率20%以上
- ・距離：市町村の中心部から概ね4km以上
- ・人口規模：300人以下
- ・集落機能の維持状況：機能低下or維持困難

(1) 自治体ヒアリング

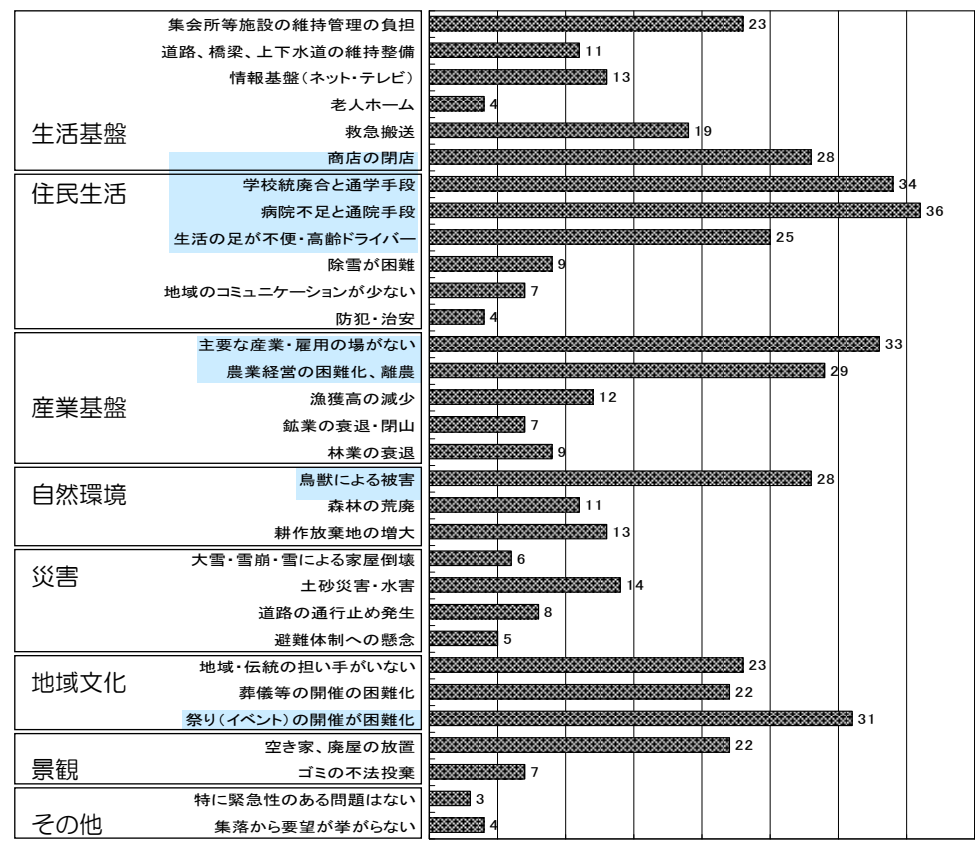
【自治体の問題指摘】

<生活基盤・住民生活>

商店の閉店、通学・通院の交通手段、生活の足の確保に関する問題指摘のほか、高齢ドライバーの増加などといった問題を指摘。

<産業基盤・自然環境・地域文化>

主要な産業や雇用の場がないこと、農業経営の困難化や離農など産業面での問題を指摘のほか、鳥獣被害や祭り(イベント)の開催が困難などといった問題についても指摘。



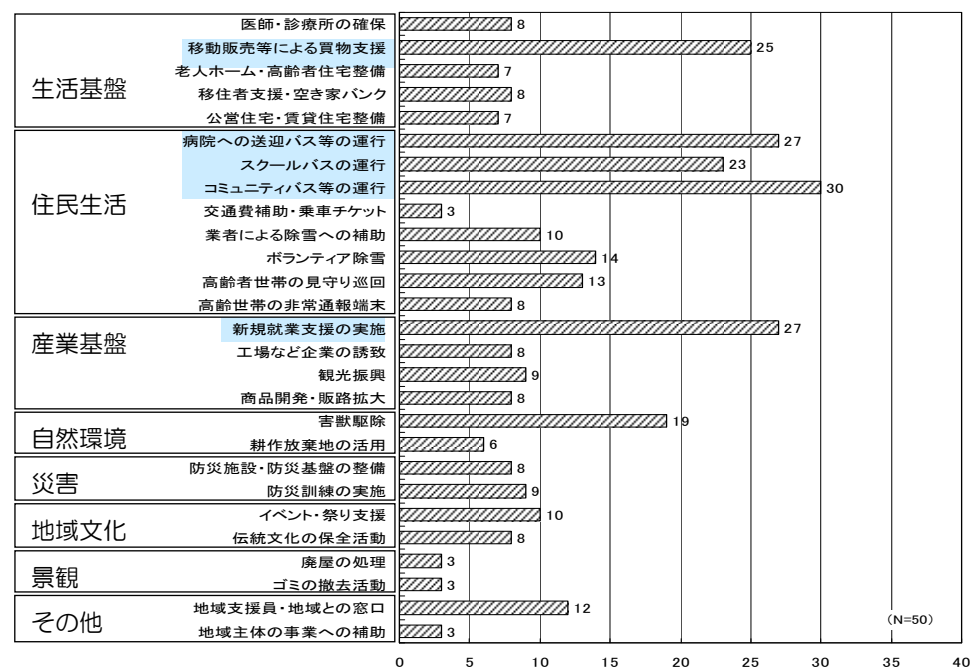
【自治体の取り組み事項】

<生活基盤・住民生活>

移動販売等による買い物支援や送迎バス・コミュニティバスの運行など生活の足の確保についての取り組みが多い。

<産業基盤>

新規就業支援に関する取り組みが多い。



(2) 集落代表者ヒアリング

【集落代表者の問題指摘】

<住民生活>

買い物や通院の交通利便性や救急医療への不安を指摘。

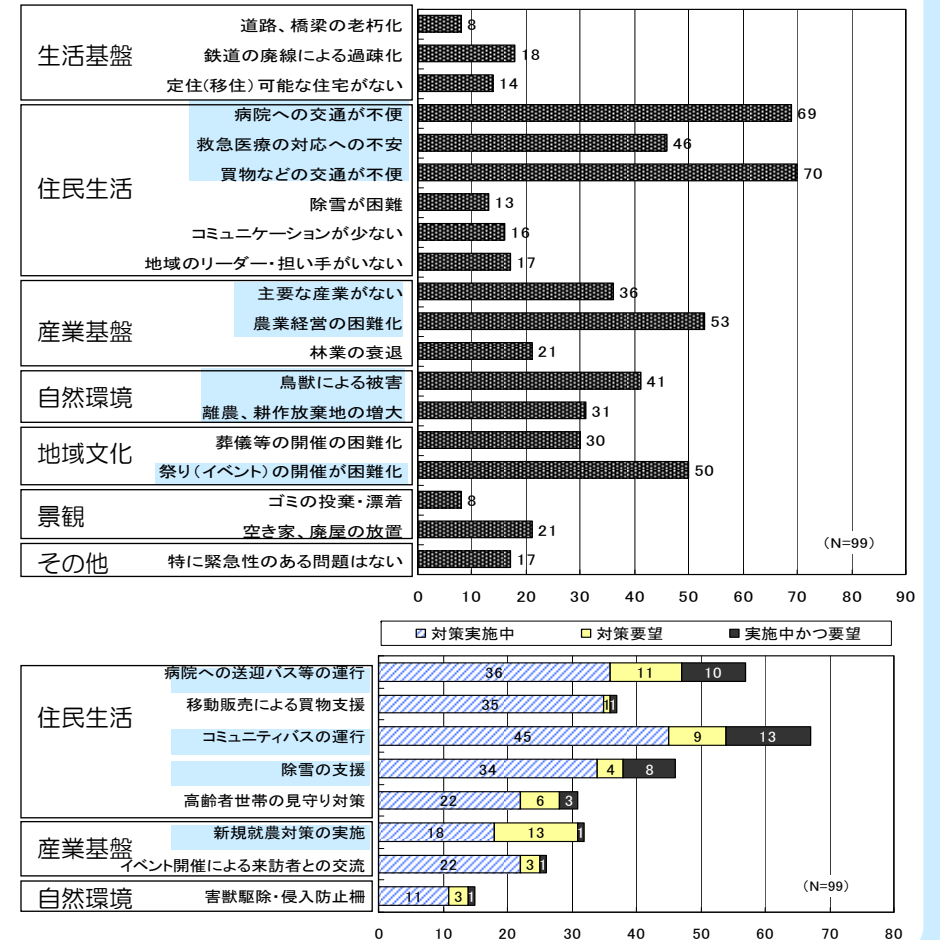
<産業基盤・自然環境・地域文化>

農業経営の困難化や主要産業の不在という産業面での問題指摘と、それに伴う耕作放棄地や鳥獣被害のほか、祭り(イベント)の開催が困難などといった問題についても指摘。

【集落代表者の対策要望】

<住民生活・産業基盤>

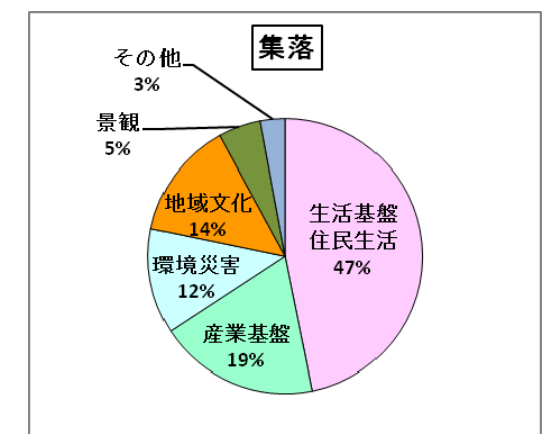
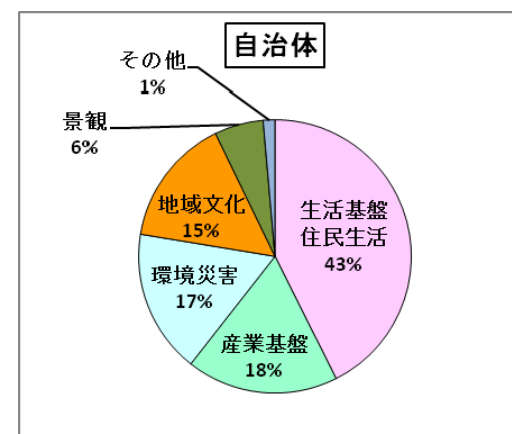
送迎バス・コミュニティバスの運行など生活の足の確保については、自治体による対策が一定程度実施されているものの、更なる要望も多い。新規就業対策や除雪の支援も同様の傾向。



(3) 自治体、集落代表者ヒアリングにおける問題指摘の比較

【分野別の比較】

自治体、集落ともにいずれの分野でもほぼ同様の指摘割合となっており、特に通院・買い物といった交通面での問題指摘など、住民生活分野での指摘割合が高い傾向にある。



2. 集落課題把握調査（分析）

（4）集落類型別の傾向分析

I 基幹産業別

集落概況調査において「稲作、畑作、酪農、漁業などの一次産業を基幹産業とする集落が全体の約8割を占める」という傾向が見られたことから、集落代表者ヒアリングを実施した99集落について、主な基幹産業別に問題指摘と対策要望を整理し、集落全体との比較による傾向を分析。

＜基幹産業別集落数＞ 稲作：20集落 畑作：28集落 酪農：16集落
 漁業：21集落 その他：14集落

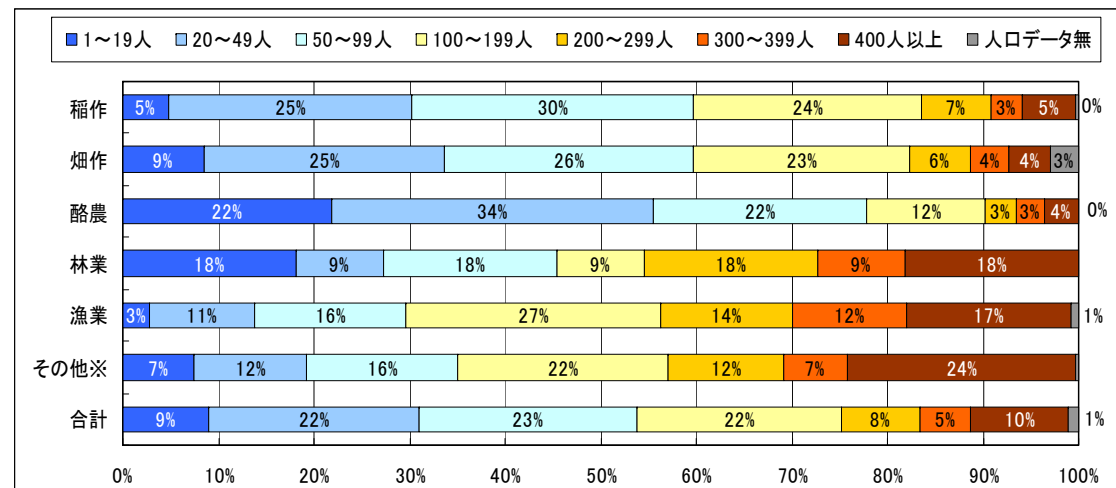
参考：基本データ（基幹産業別）

＜集落人口別の集落数＞

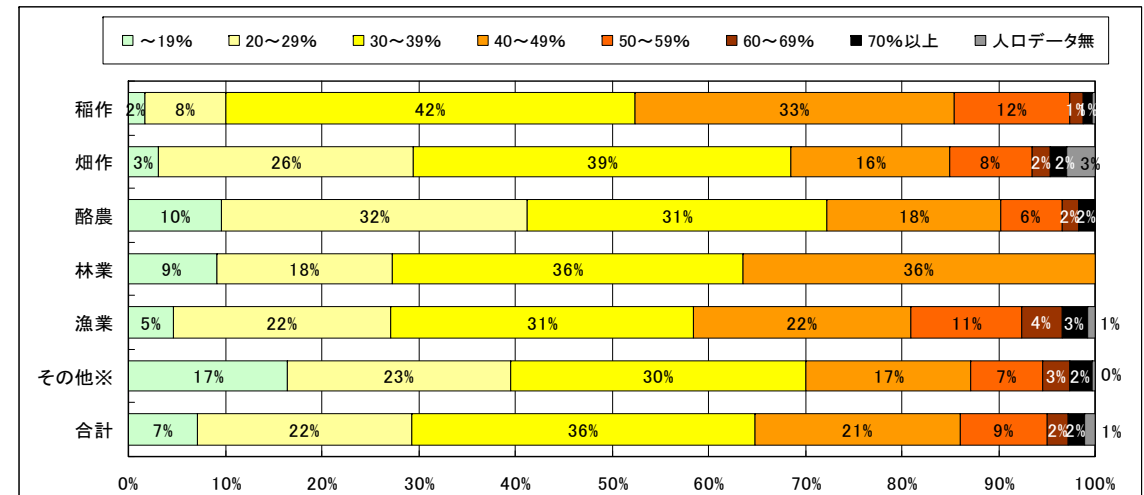
集落人口	基幹産業						合計
	稲作	畑作	酪農	林業	漁業	その他※	
1～19人	39	90	134	2	11	63	339
20～49人	208	265	206	1	45	101	826
50～99人	242	274	137	2	64	135	854
100～199人	196	239	76	1	108	188	808
200～299人	59	67	20	2	56	104	308
300～399人	27	43	18	1	48	57	194
400人以上	45	46	22	2	70	204	389
人口データ無	3	31	0	0	3	2	39
合計	819	1,055	613	11	405	854	3,757

※「その他」は無回答を含む

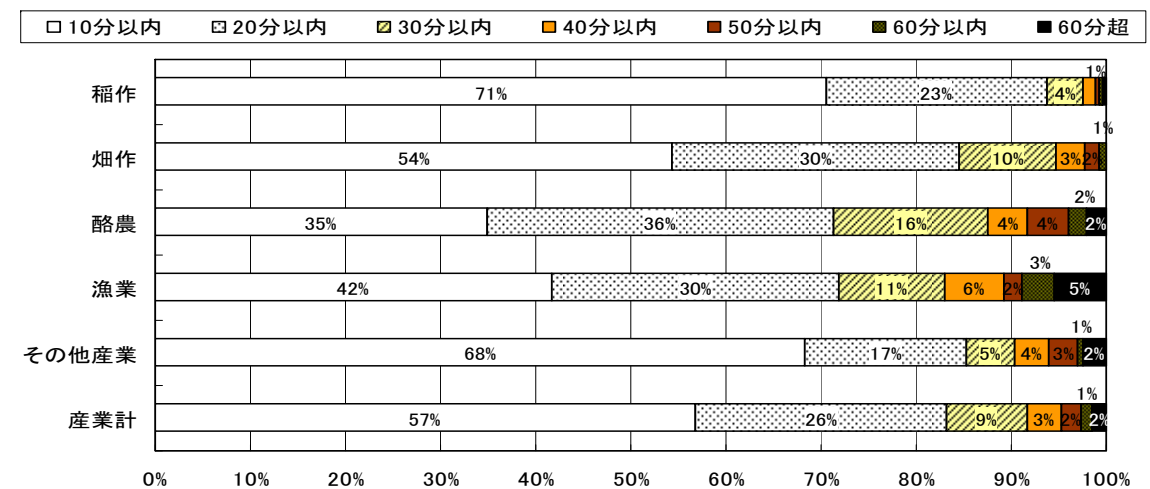
＜集落人口別集落数の構成比＞



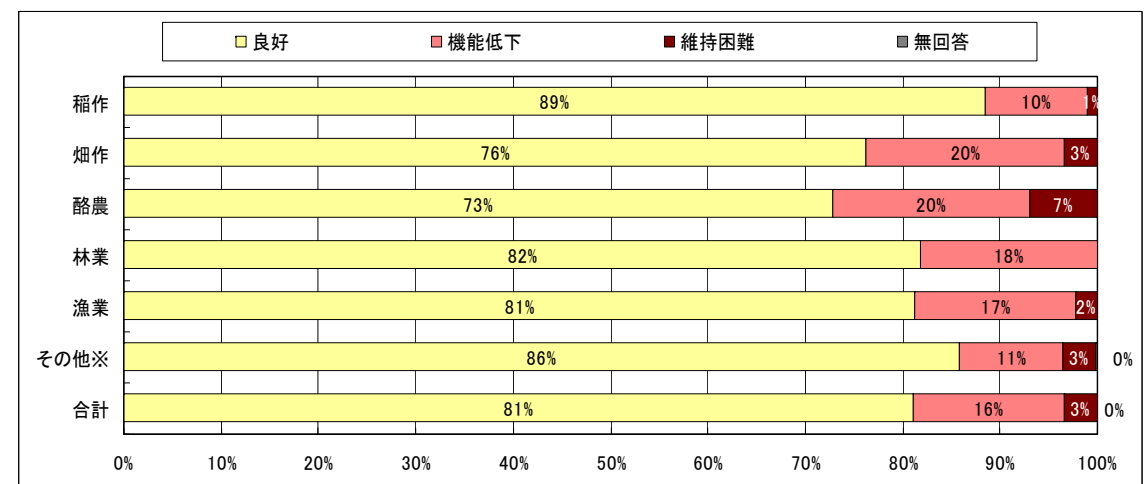
＜高齢化率別集落数の構成比＞



＜役場までの所要時間別集落数の構成比＞



＜集落機能の維持状況の構成比＞



2. 集落課題把握調査（分析）

(1-①) 稲作集落

【基本データ】

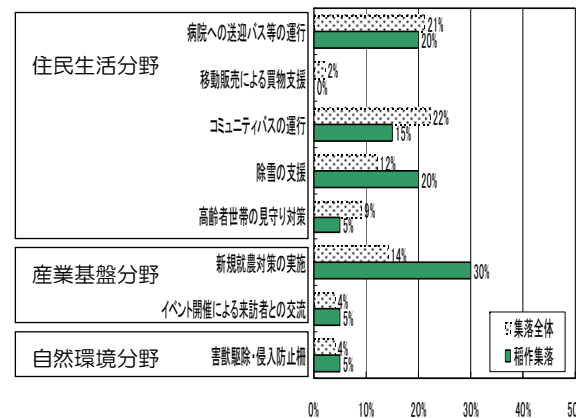
※丸数字は基幹産業別の
ランキング(以下同じ)

- 全集落に占める割合 → 22% ②
- 高齢化率(40%以上) → 47% ①
- 人口構成(50人未満) → 30% ③
- 役場まで所要時間(20分超) → 6% ④
- 集落機能(低下・維持困難) → 11% ④

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～農業経営の困難化、鳥獣被害、
離農・耕作放棄地の増大等
対策要望～新規就農対策、除雪の支援等

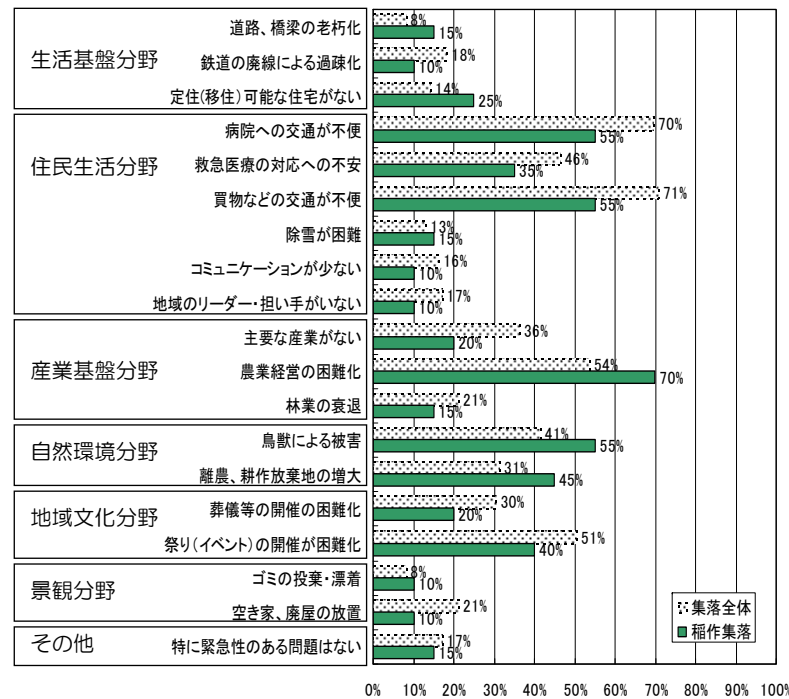
対策要望事項



【傾向】

- 高齢化率が高く、比較的市街地に近い集落が多い。
- 集落機能が比較的維持されている。
- 農業経営の困難化に伴う新規就農支援への対策要望が多い。

指摘事項



(1-②) 畑作集落

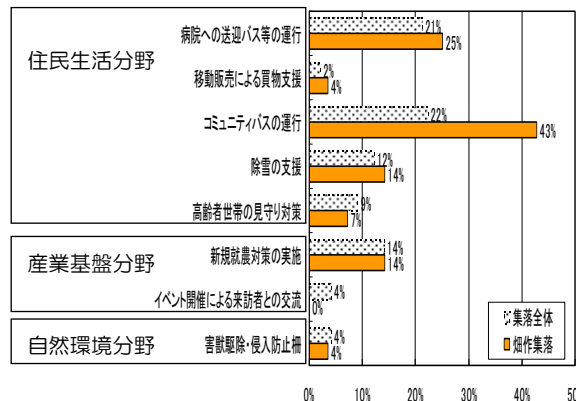
【基本データ】

- 全集落に占める割合 → 28% ①
- 高齢化率(40%以上) → 28% ③
- 人口構成(50人未満) → 34% ②
- 役場まで所要時間(20分超) → 16% ③
- 集落機能(低下・維持困難) → 23% ②

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～病院や買い物への交通が不便
農業経営の困難化等
対策要望～コミュニティバスの運行等

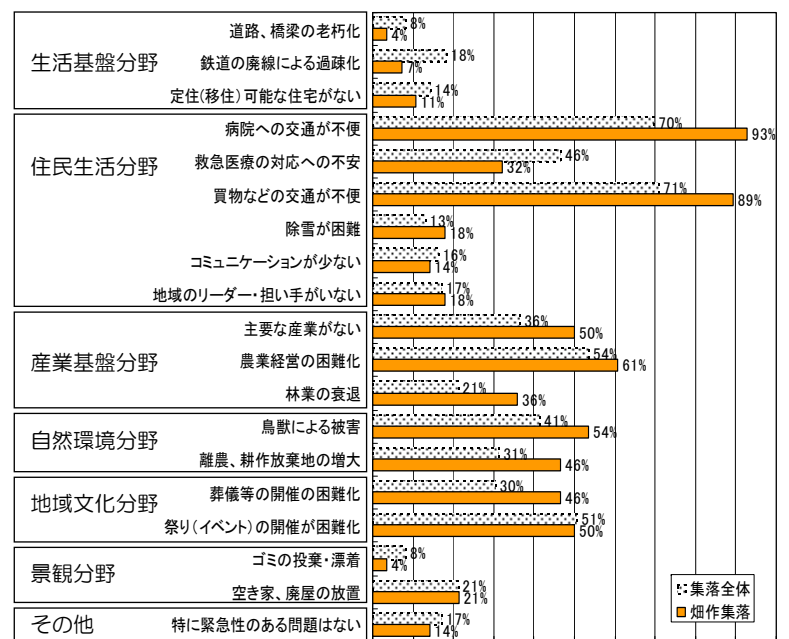
対策要望事項



【傾向】

- 集落全体に占める割合が高い。
- 通院や買い物といった交通面での問題指摘が多い。
- コミュニティバスの運行への対策要望が多い。

指摘事項



(1-③) 酪農集落

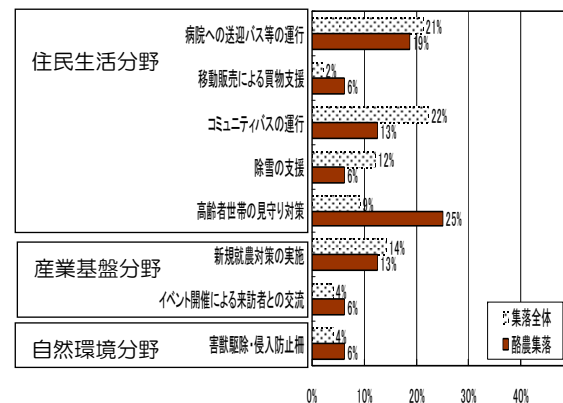
【基本データ】

- 全集落に占める割合 → 16% ③
- 高齢化率(40%以上) → 28% ③
- 人口構成(50人未満) → 56% ①
- 役場まで所要時間(20分超) → 28% ①
- 集落機能(低下・維持困難) → 27% ①

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～病院や買い物への交通が不便
農業経営の困難化等
対策要望～高齢者世帯の見守り対策等

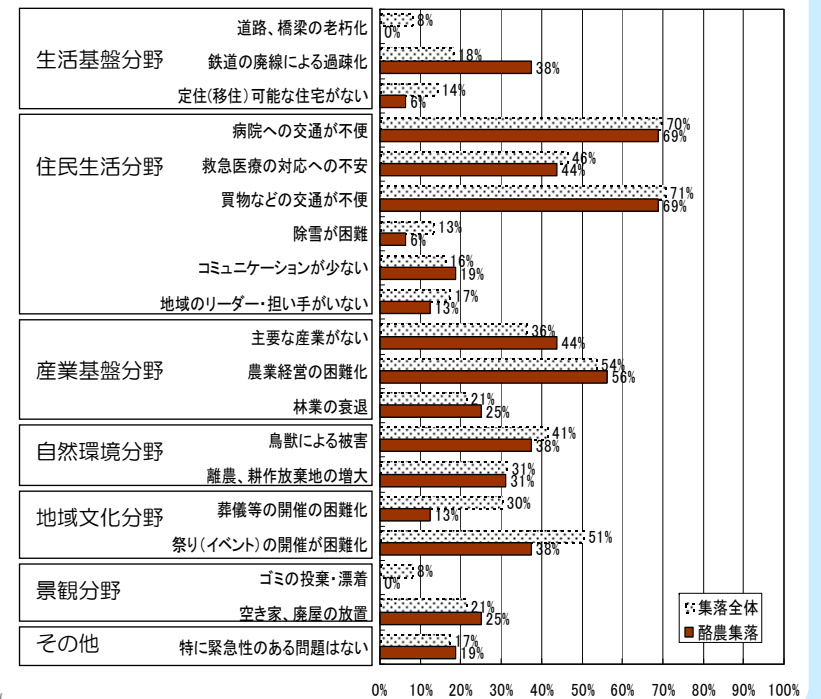
対策要望事項



【傾向】

- 集落人口が少なく、比較的市街地から遠い集落が多い。
- 機能低下や維持困難となっている集落の割合が高い。
- 高齢者世帯の見守りへの対策要望が多い。

指摘事項



(1-④) 漁業集落

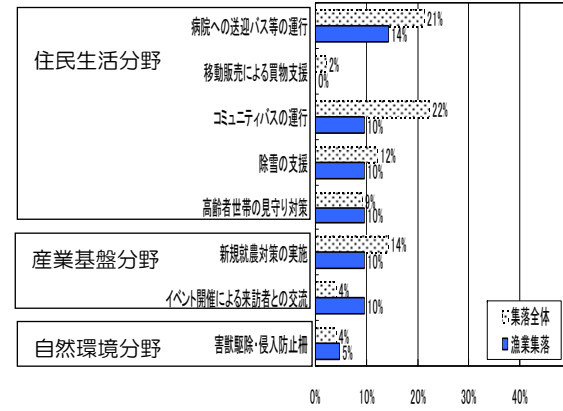
【基本データ】

- 全集落に占める割合 → 11% ④
- 高齢化率(40%以上) → 40% ②
- 人口構成(50人未満) → 14% ④
- 役場まで所要時間(20分超) → 27% ②
- 集落機能(低下・維持困難) → 19% ③

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～救急医療の対応への不安、祭り
(イベント)の開催が困難等
対策要望～病院への送迎バス等の運行等

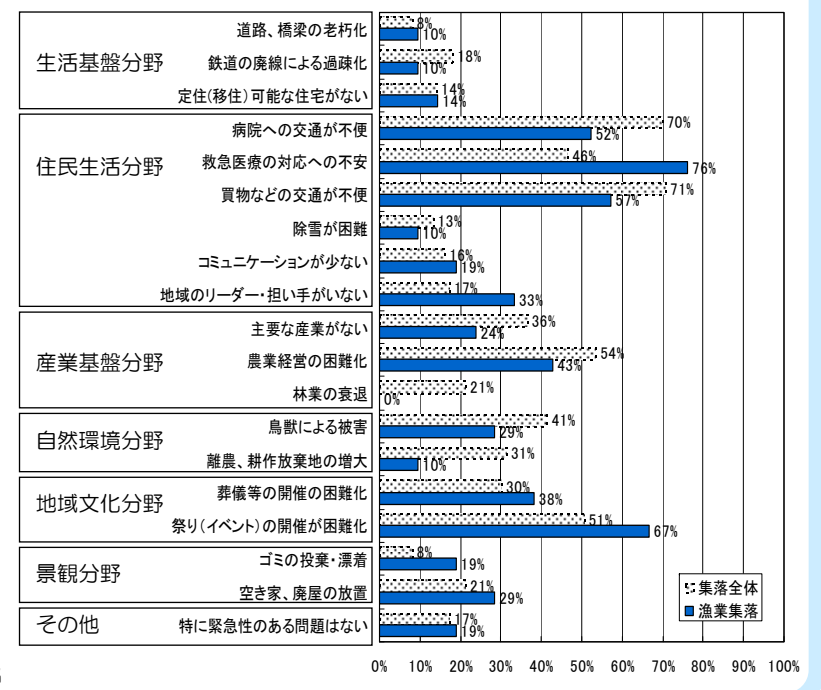
対策要望事項



【傾向】

- 高齢化率が高く、比較的市街地から遠い集落が多い。
- 救急医療の対応への不安や祭り(イベント)の開催が困難といった問題指摘が多い。
- イベント開催による来訪者との交流への対策要望が多い。

指摘事項



2. 集落課題把握調査（分析）

II 人口類型別

集落概況調査において「集落人口が少ないほど、集落機能が低下している回答割合が高い」「高齢化率が高いほど、集落機能が低下している回答割合が高い」という傾向が見られたことから、人口と高齢化率に着目し、以下の集落人口類型において問題指摘と対策要望を整理し、集落全体との比較による傾向を分析。

＜集落人口類型＞
 類型 A：高齢化率 50%以上 かつ 人口 51人以上……14 集落（13 自治体）
 類型 B：高齢化率 50%以上 かつ 人口 50人以下……34 集落（28 自治体）
 類型 C：後期高齢者（75歳以上）の割合 50%以上…… 9 集落（8 自治体）

(II-②) 人口類型 B

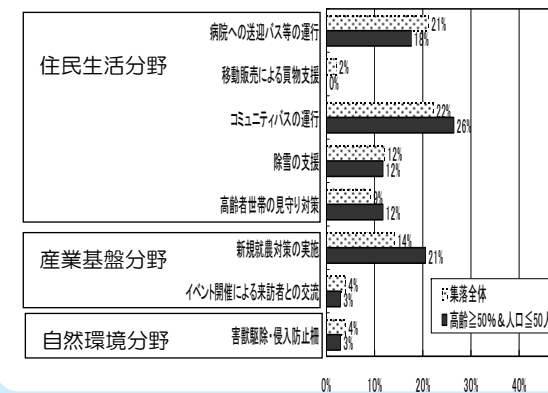
【設定条件】

高齢化率 → 50%以上
 かつ
 集落人口 → 50人以下

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～病院や買い物への交通が不便
 農業経営の困難化 等
 対策要望～コミュニティバスの運行 等

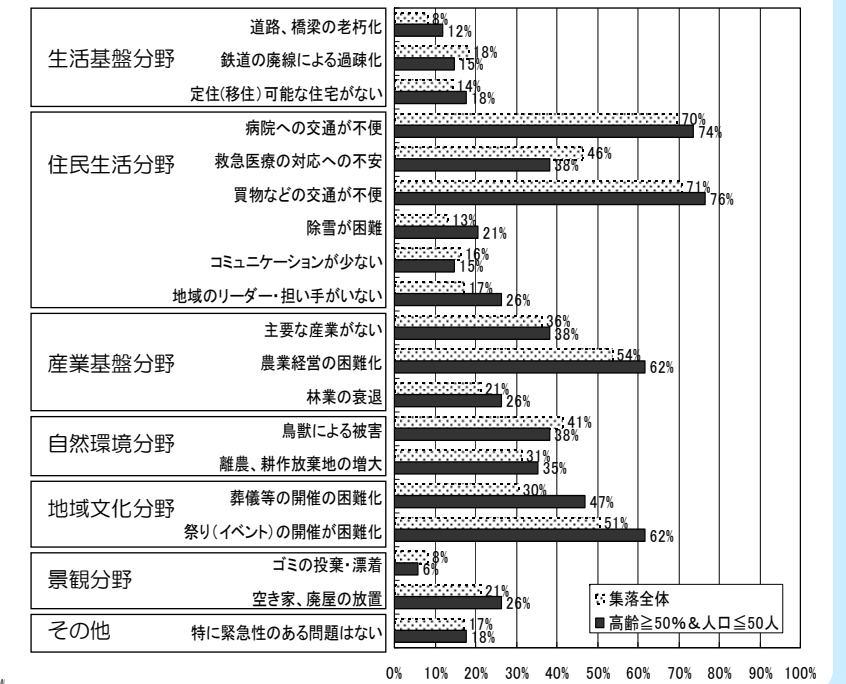
対策要望事項



【傾向】

- 地域のリーダーや担い手の不足、祭り(イベント)の開催が困難といった問題指摘が多い。
- 農業経営の困難化に伴う新規就農支援への対策要望が多い。

指摘事項



(II-①) 人口類型 A

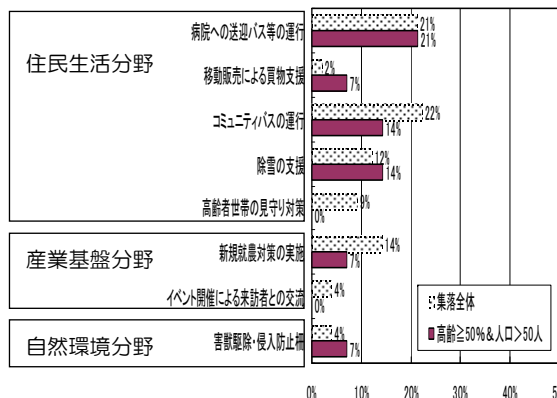
【設定条件】

高齢化率 → 50%以上
 かつ
 集落人口 → 51人以上

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～病院や買い物への交通が不便
 救急医療の対応への不安 等
 対策要望～病院への送迎バス等の運行 等

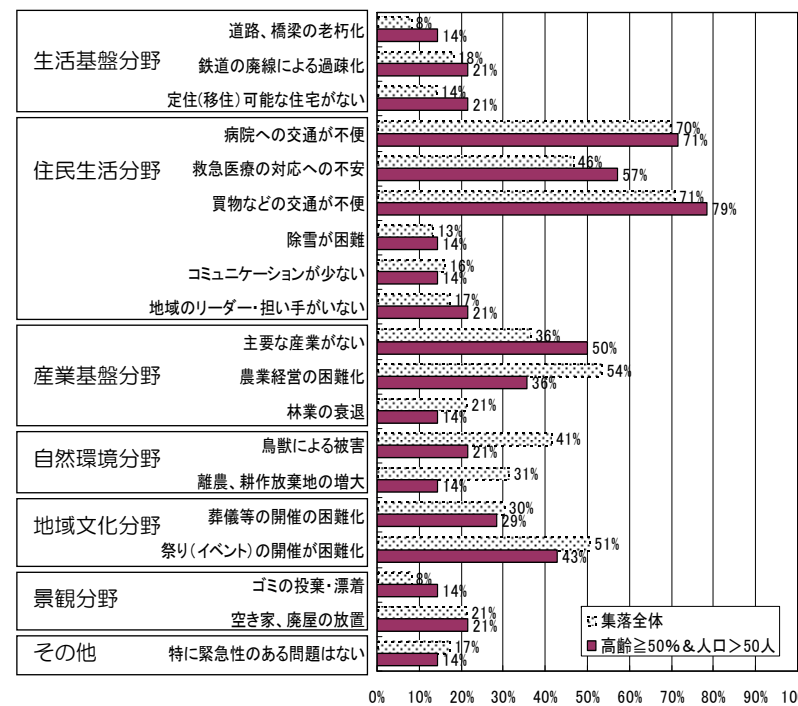
対策要望事項



【傾向】

- 救急医療への対応の不安や地域に主要産業がないといった問題指摘が多い。
- 病院への送迎バス等の運行への対策要望が多い。

指摘事項



(II-③) 人口類型 C

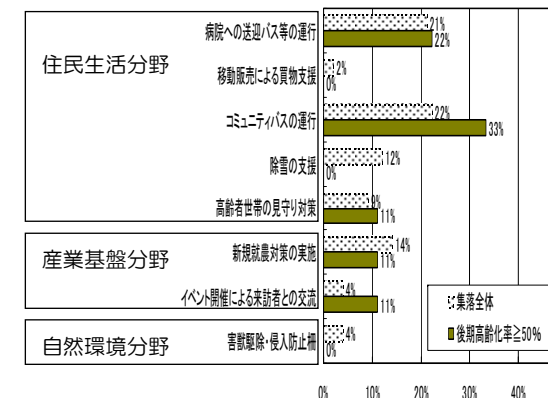
【設定条件】

後期高齢者(75歳以上)の割合 → 50%以上

【問題指摘と対策要望】

問題指摘～病院や買い物への交通が不便
 葬儀等の開催が困難 等
 対策要望～コミュニティバスの運行 等

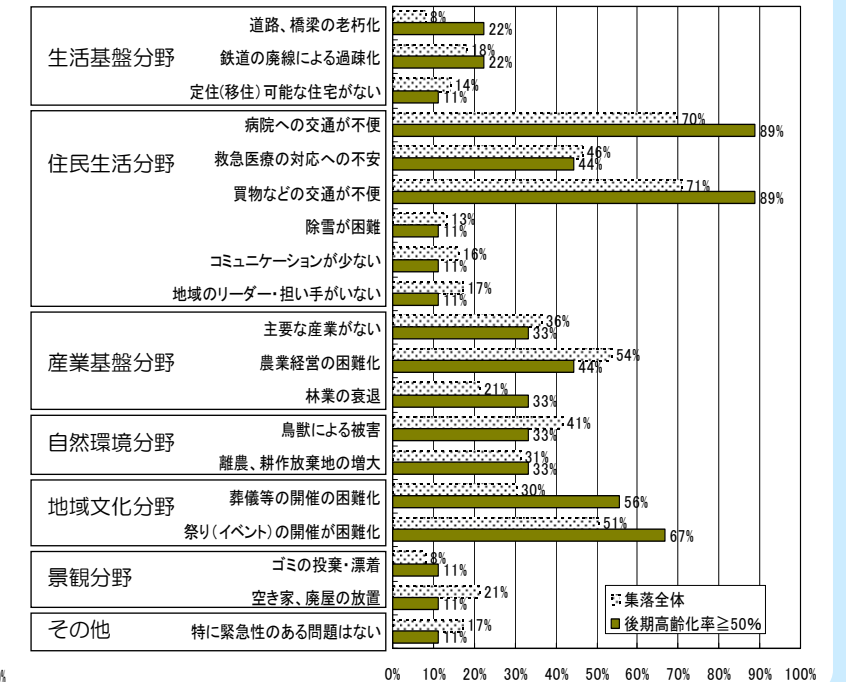
対策要望事項



【傾向】

- 通院や買い物といった交通面、葬儀や祭り(イベント)の開催が困難といった問題指摘が顕著。
- 病院への送迎バスやコミュニティバスの運行への対策要望が多い。

指摘事項



3. 先進事例調査

(1) 先進事例の概要

〈先進取組事例調査のねらい〉

自治体が集落対策を検討するにあたって参考となるように、分野別の課題に対応した道内外の106の先進事例を調査および整理。

(2) 分野別キーワード別事例数

分野	キーワード
生活基盤 (17)	集会所 (4)、道路 (3)、上下水 (1)、情報基盤 (4)、住宅 (6)
住民生活 (46)	学校・教育 (18)、医療福祉 (14)、買い物 (12)、交通 (9) 除雪 (4)、安否確認 (4)、防犯 (4)、支援員 (12)
産業基盤 (100)	農業 (61)、林業 (5)、畜産業 (6)、漁業 (3)、工業 (4)、 観光 (49) 商品開発 (59)、交流 (68)
自然環境 (23)	鳥獣被害 (3)、生態系 (6)、森林 (6)、海・川 (4)、 耕作放棄地 (11)
災害 (6)	雪害 (4)、土砂・水害 (1)、通行止め (1)、避難 (2)
地域文化 (27)	伝統文化 (22)、祭り (8)
景観 (14)	廃屋 (5)、ゴミ (5)、景勝地 (7)

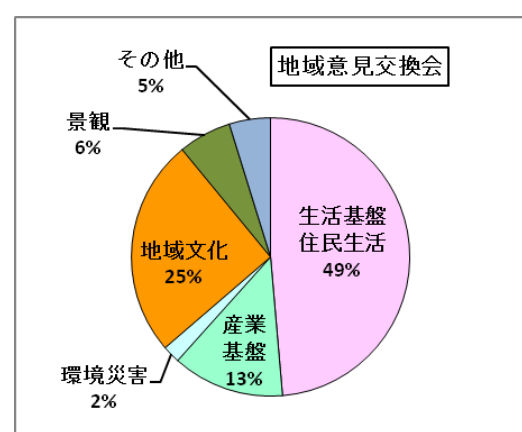
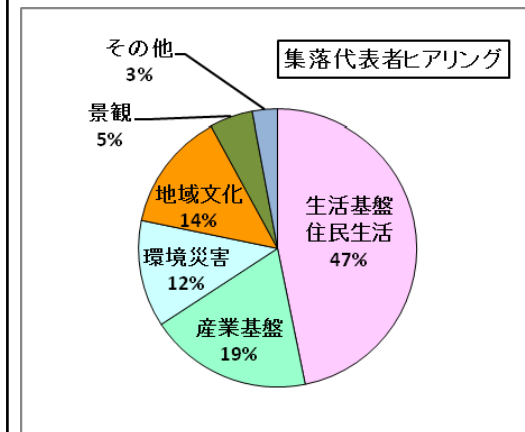
注：() 数字は事例数、複数の分野、複数のキーワードに該当する事例がある。

そのため、分野合計は総事例数と一致しない。またキーワード合計は分野事例数と一致しない。

(3) 集落代表者ヒアリングと地域意見交換会の比較

【分野別の比較】

集落代表者ヒアリング（道内99集落で実施）と地域意見交換会（道内5カ所で実施）での課題を比較。いずれも生活基盤及び住民生活の分野での課題が多い傾向にある。



4. 地域意見交換会の開催

(1) 地域意見交換会の開催概要

道内5ヶ所において、集落にお住まいの住民の方々、道・市町村の担当職員および集落対策促進会議委員等が相互に集落の実態について理解を深めるため、意見交換やワークショップを実施。

地域区分	道央	道南	道北	オホーツク	道東
開催地	喜茂別町	福島町	愛別町	遠軽町 (旧生田原町)	釧路市 (旧阿寒町)
開催日時	平成23年 12月15日(木) 13:30~16:00	平成24年 2月29日(水) 13:30~16:00	平成24年 2月10日(金) 17:30~20:00	平成24年 2月21日(火) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	平成24年 1月25日(水) 13:30~16:00
参加者数	15名	23名	26名	①14名 ②10名	12名
集落対策促進会議委員	柳村座長 内村委員	中島委員 藤田委員	谷委員		西村委員
地域特性	畑作	漁業	稲作	畑作、酪農	酪農

(2) 地域意見交換会での意見

①：第一部 ②：第二部

